



人生
100年
時代

今日からチャレンジしたいこと

後志地区ボランティア研修会を開催

令和5年5月27日、令和5年度ボラネット事業「後志地区ボランティア研修会」を倶知安町のホテル第一会館プラザホールを会場に開催し、後志管内のボランティア団体の関係者約110名が集いました。

講演は、「カラダは食べた物からできている」～人生100年時代を生きるためのヒント～と題し、(株)明治 北日本支社札幌オフィス 食育・エリアマーケティング課 中村 仁美氏を講師に迎え行われました。

中村氏は、人生100年時代を健康に生きるために運動や食事の重要性をフレイルと関連付け、口から食べることの重要性やバランスの良い食生活と、運動によって期待できるメリットを伝え、身体の調子を整える事が生活の質を豊かにすることと、フレイルにならないためにチャレンジすることの大切をお話しされました。

全体会では、ボランティア活動をとおして学んだことについて意見交換が行われ、新たなボランティア活動の参考になる有意義な研修になりました。



後志地区ボランティア連絡協議会 会長 **小野 幸子**

後志地区ボランティア連絡協議会の研修会に、沢山の方々に参加していただき、充実した研修会となりましたことに厚くお礼を申し上げます。

令和2年から続いた、コロナ禍の中でもコツコツと活動して下さった皆様に心から敬意を表します。

これまでも、ボランティアに関連した研修を重ねてきましたが、1月1日、石川県でおきた最大震度7を観測した能登半島地震では沢山の方々が被害に遭われていて、復旧・復興までの道のりは計り知れないのではないのでしょうか。現地では、災害ボランティアの方々が日々活躍しているかと思えます。

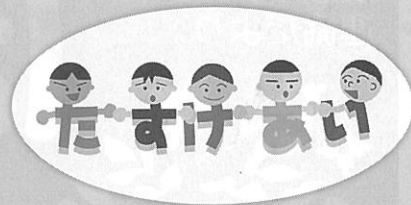
岩内港で津波が観測されたとの報道もあり、災害は忘れたところにやってくると言われますが、一昨年の「防災に役立つ風呂敷講座」の研修を改めて思い返し、実践へ備えました。

最後に、各団体の活動を「ぽてとつつしん」で広く周知していきたいと考えています。他の団体の活動に役立つと思いますので是非お知らせ願います。



この事業は共同募金の配分金の配分を受けて行っています

身近な「こまった!」に 広がる有償ボランティア



利用する人は困った時に気がねなく、お手伝いする人は自分のできることで、住民同士の助け合い
でお互いの自立を支援します。

**有償ボランティアを実施している町村は10町村、
実施に向けて検討中が2町村、
実施していないが7町村でした。**



■ 活動内容・支援内容

大きく分けて家事支援、作業支援、外出支援、その他となっています。

- **家事支援** … 洗濯、買物代行、ゴミ出し、掃除、整理整頓、調理、洋服整理 など
- **作業支援** … 簡単な大工仕事、お墓掃除、草刈り、窓ふき、冬囲い、畑起し、除雪 など
- **外出支援** … 買物付添、通院付添、理美容院同行、金融・行政機関同行、温泉支援 など
- **その他** … 趣味活動の手伝い・相手、話相手、ペットの散歩、できることは極力対応 など

■ 利用料

現金が7町村、チケット制が3町村、利用会員負担はゴミ出し100円、30分100円～1時間1,000円などで各町村の規定によります。寿都町の放課後児童クラブは月額3,000円。協力会員への謝礼は、利用者負担の範囲内で各町村の規定によります。交通費は、事務局が定額で負担している町村が2町村、燃料代実費が2町村です。

◆有償ボランティア実施状況

実施町村	事業名 実施主体	開始年度	事業の目的
寿都町	放課後児童支援事業の高校生有償ボランティア 寿都町社会福祉協議会	令和5年度	当該事業の体験学習とともに、社会福祉事業の理解を深めてもらう。
黒松内町	くらしのサポーター 黒松内町ボランティアセンター(社協)	令和3年度	町民が自分のできることでお互いを支え合い、年齢に関係なく活躍できる場の提供と、安心して在宅生活を送るための社会資源の1つになる事。
蘭越町	蘭越支えあい隊J & B倶楽部	令和5年度	支援を必要とする方の掘り起こしと生活支援・ニーズ調査。
京極町	支え合いステーション NPO法人 きょうここ	平成30年度	年齢や障がいの有無に関係なく、やりたいことが出来る場所、人と人がつながり、支え合える場所です。
岩内町	有償ボランティア「たすけて」 岩内町社会福祉協議会	平成26年度	在宅の高齢者に対して、生活の安定及び福祉の増進を図るため、町民の参加と協力を得て、「お互いに助け合う」の精神に基づき、低廉な料金で各種福祉等の支援活動を提供すること。
泊村	有償ボランティア事業 泊村社会福祉協議会	令和5年度	高齢者が社会の担い手として活躍するための環境づくりと高齢者の介護予防を図るため、誰もが安心して暮らすことのできる村づくりや地域助け合いの精神を基調とした、住民同士の寄り添い支え合う村づくりの実現することを目的とする。
古平町	訪問型サービスB・D 有償ボランティア活動団体 「おまかせあれ!!!」	平成31年度	住民の参画と協働による、誰もが支え合う地域共生社会を創造することにより、誰もが健康で生きがいをもって、我が郷土古平で暮らし続けられるようサービスを提供していくことを目的とする。
仁木町	有償ボランティア活動 有償ボランティア団体「NiKibee」	令和5年度	地域住民の協働による共生社会の創造、安らぎ・健康・生きがいをもって地域で暮らし続けられるようお手伝いすること。
余市町	子育てサポート・センター運営事業 余市町社会福祉協議会	平成20年度	子育て家庭を地域全体で支援するため、地域の助け合いの仕組みを組織化安心して子育てができるよう「子育てサポート・センター」を運営する。
赤井川村	有償ボランティア「わっか」 赤井川村社会福祉協議会	令和3年度	高齢者や障がい者、子育て中の方々等に対して、生活の安定及び福祉の増進を図ることを目的に、村民の参加と協力を得て「お互い助け合う」の精神に基づき、低廉な料金で各種福祉等の支援活動を提供する有償ボランティア。

過疎化、少子高齢化が進むなか、後志管内の各町村社会福祉協議会（社協）が中心となり、従来の福祉ではカバーできない日常の困りごとに対応する有償ボランティアが徐々に広がっています。

日々の暮らしに苦勞や孤独を感じる人も少なくないなか、有償ボランティアによる一歩踏み込んだ支援で地域を変え、支えようと取り組んでいます。

後志管内の各社協にご協力をいただき、有償ボランティアに関するアンケートを行いましたので、その結果をお知らせいたします。

■ **メリット**

支え合いができる／ちょっとした困りごとに対応できる／担い手シニアの生きがいづくり／生活支援の充実／住民の多様なニーズに応えることができる／無償により気づまりや遠慮が取り除かれる／協力会員の経済的な負担が少なくなり参加しやすくなる／少額報酬があることにより気兼ねなく利用／幅広いニーズに応えることができる／利用会員はそれぞれの作業を安価で受けられる／制度の狭間の困りごとを支援することにより、高齢者等の在宅生活の一助となる／無料よりお金を支払ったほうが頼みやすい

■ **デメリット**

相談内容によっては協力者の確保に時間がかかる／夏季の協力会員が不足する傾向がありサービス調整が難しくなる／金銭がからむため、求める活動にある程度応えていかなければならない（要望・日程等）／民業を圧迫する可能性がある／作業などの専門性の不足／業者等の棲み分けが曖昧／活動報告、チケットのやり取り等のわずらわしさがある

■ **課題**

協力会員と利用会員に分かれてしまい登録者の活動の場を提供できない／支援を必要とする人の掘り起こし／運営する事業資金の調達／利用会員は年々増加するが協力会員が増えない／活動費の金額設定が難しい／協力会員が不足しているため今後の確保を模索している／協力会員が少ないのでいかに増やしていくか／協力会員の拡大／謝礼金額の妥当性／機材整備等／ボランティアのイメージが高齢者のお世話など固定化されているのでボランティアできることの周知やマッチング

利用できる方 (利用会員)	登録者数	支援できる方 (協力会員)	登録者数	活動・支援内容
町に在籍する小学生	40	高校生	10	放課後児童クラブでの遊びや宿題の手伝い
お互いに支え合う仕組みなので分けていない	21	お互いに支え合う仕組みなので分けていない	21	家事支援・作業支援 外出支援・その他
町内在住で支援を必要とされる方	16	町内在住の50～70代 主にシニア	13	家事支援・作業支援 外出支援
正会員、支え合い会員（個人）	79	正会員、支え合い会員（個人）	79	家事支援・作業支援 外出支援
活動の趣旨に賛同する在宅の高齢者、 障害者	370	活動の趣旨に賛同し、支援活動 をしたい方	45	家事支援・作業支援 外出支援・その他
村内在住の、概ね65歳以上で援助を必要とする者、心身に障害持ち援助を必要とする者、その他の事情により援助を必要とする者	5	心身とも健康で、社会福祉及びこの事業を理解し、熱意をもって本事業に労力を提供できる者	5	作業支援 外出支援
助けて会員（事業対象者）	140	おまかせ会員	25	家事支援・作業支援 外出支援
特に決めはない	(利用者数) 32	目的、活動の趣旨に賛同する者	14	家事支援・作業支援 外出支援・その他
子育て援助を受けたい人 (両方会員を含む)	7	援助できる人(両方会員を含む)	9	通院、冠婚葬祭、 リフレッシュなどの外出時の子どもの預かり等
高齢者(概ね65歳以上)、障がい者、ケガや病気で一時的に手助けを必要とされる方、乳幼児の子育て中の方等	10	村内に居住する方	10	家事支援・作業支援 外出支援・その他

仁木町 銀山女性の会

地域を支え、地域の魅力を発信して70年

仁木町銀山地区は、肥沃な耕地に恵まれた田園風景が山あい広がる農業が盛んな地域です。

銀山女性の会は、昭和28年2月に銀山婦人会として創立され、平成14年に銀山女性の会に名称の変更を行い、令和5年に創立70周年を迎えた地域に欠かすことのできない歴史のある女性団体で、銀山地区の人々との交流を深めることを大切にボランティア活動や、文化活動、地域活動など、地域の生活を支える活動に熱心に取り組まれています。

会員は、過疎化や高齢化などにより年々減少し、現在の会員数は、25名で、母娘で参加している会員や、発足当時の「かあちゃん歌舞伎」を見ていた会員が、ビートスコープ（スコープ三味線）で活躍しています。

銀山地区には、知的障がい者施設の銀山学園や、終戦間もないころに設立された、北後志管内唯一の児童養護施設の櫻ヶ丘学園があり、現在も、多くの子どもたちが生活しています。

櫻ヶ丘学園の慰問は、昭和28年から始まり、初期は服の繕い等、現在は絵本と児童書の寄贈を行っています。

また、櫻ヶ丘学園では、絵本の読み聞かせ交流会、銀山学園では、料理教室、縫物ボランティアなどや、施設のお祭りでビートスコープの共演をとおして楽しみながら交流を深めています。

地域活動は、花いっぱい運動で道道沿い、生活改善センター前、銀山小学校の花植えと花壇整備、銀山地区の各学校に雑巾寄贈、銀山小学校と銀山中学校の入学祝いのプレゼント、登下校の見守り、古紙回収事業など地域生活に密着した活動を行っています。

文化活動にも力をいれており、ビートスコープの演奏を、仁木町文化祭、銀山地区文化祭などで披露しています。令和4年に北海道テレビの取材を受け演奏の様子が全道に紹介されています。

大洞会長、堀野副会長、城戸相談役にお話をいただきましたが、その中で「引越したけど、銀山に戻りたいという会員がいるんですよ」と話されていました。この言葉は銀山地区への強い愛着もありますが、銀山女性の会が長年築いてきた信頼だとわかりました。

